



議会だより

北栄

北栄町議会
33
平成26年8月



ふるさと納税大幅増

P.2

出前座談会

P.5

町政 ここを問う

P.6



北栄町議会

検索

<http://www.e-hokuei.net>

真剣なまなざしでチェック

ふるさと納税大幅増

6月9日から19日にかけて、6月定例議会を開きました。提案された条例や補正など、11議案及び議員発議の2議案を可決しました。一般会計補正予算では、ふるさと納税が大幅に増加したため、お礼の特産品等の経費を、2948万円増額しました。[P15に関連記事] その他、5件の報告と4件の請願・陳情審査がありました。

| | | |
|-------|---------------------------------------|----------|
| 専決処分 | 税条例等の一部改正 (地方税法改正によるもの) | 承認12：反対2 |
| | 国民健康保険税条例の一部改正 (地方税法改正によるもの) | 全会一致 |
| | 住宅新築資金特別会計補正予算(第1号) (※繰上充用 3010万円) | 全会一致 |
| | 下水道特別会計補正予算(第1号) (※繰上充用 776万円) | 全会一致 |
| 条 例 | 町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正 (優先対象に子育て世帯追加) | 賛成13：反対1 |
| 補正予算 | 一般会計補正予算(第1号) (ふるさと北栄基金事業等9108万円) | 全会一致 |
| | 下水道特別会計補正予算(第2号) (人件費▲455万円) | 全会一致 |
| | 風力発電特別会計補正予算(第1号) (施設管理費等1837万円) | 全会一致 |
| そ の 他 | 建設工事委託に関する協定の締結 (大栄浄化センター機械設備等更新) | 全会一致 |
| | 財産の取得 (消防ポンプ自動車) | 全会一致 |
| | 財産の取得 (北条小スクールバス) | 全会一致 |

※繰上充用とは……25年度の収入不足(未収金)を26年度の予算から前借りするもの。



北条小学校にスクールバス
※導入するのはマイクロバス
タイプ

発議第4号

参議院選挙制度改革の「合区」案反対決議

全会一致

★喫緊の課題である1票の格差については、選挙制度協議会座長案で「合区」案が示された。北栄町議会は、地方の声を国政に届けるため、現行の都道府県単位の選挙区を維持した上で議論が進められることを望み、地方分権に逆行するような選挙制度改革、特に府県選挙区の「合区」案に強く反対することを決議する。

※詳しい議案名と審議結果はHPIに掲載しています。

質疑あれこれ

障がい者計画の変更

問 齊尾 智弘

障がいのある人が安心して暮らせるように、相談体制の充実は図られているのか。

答 鎌田福祉課長

派遣職員対応であったが、町職員として採用し、きめ細かい相談対応ができるようにした。

問 飯田 正征

体の不自由な方のために、庁舎にエレベーターを設置してはどうか。

答 別本総務課長

庁舎の構造上、設置は大変難しい。



町営住宅の設置及び管理条例の一部改正

問 長谷川昭二

優先入居の対象者に、中学生までの子育て世帯を追加した理由はなにか。

答 大庭住民生活課長

子育て支援策の一環として応募枠を追加した。

風力発電会計補正予算

問 田中 精一

見学記念品は、風力発電所だけでなく、類似施設の下水処理場等の見学にも出してはどうか。

答 吉岡地域整備課長

検討したい。

賛否あり

町税条例等の一部改正

反対討論 長谷川 昭二

軽自動車等に係る税が大幅に増税される。軽自動車は、公共交通が衰退した地域では、住民の重要な移動手段となっている。

自動車取得税を減税・廃止し、その減収のついでに軽自動車税の増税で賄うことは、消費税増税で二重の負担を押しつけるものである。

町営住宅の設置及び管理条例の一部改正

反対討論 長谷川 昭二

優先入居の対象者に、中学生までの子育て世帯を加える条例改正である。子育て世帯を優先的に入居させることは、より住宅に困窮する度合いの高い世帯が入居できない可能性が生じる。そのような世帯が、できるだけ町営住宅に入居できるように枠を確保すべきである。

反対議員
前田・長谷川

賛成議員

飯田・津川
阪本・油本
町田・斉尾
森本・宮本
池田・山下
浜本・田中



反対議員
長谷川

賛成議員

津川・飯田
油本・阪本
斉尾・町田
宮本・森本
前田・山下
池田・田中
浜本・田中



請願・陳情審査結果

| 請願件名 | 請願者名 | 採決 | 委員会の意見 |
|-------------------|-----------------------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地方財政の充実・強化を求める請願 | 自治労鳥取県本部 北栄町職員労働組合 (津川俊仁議員) | 採択 全会一致 | 地方財政予算全体の安定確保を図るため →政府に意見書を提出 |
| さらなる年金削減の中止を求める請願 | 全日本年金者組合 鳥取県中部支部 (長谷川昭二議員) | 不採択 賛成 4 反対 10 | 持続可能な年金制度のためには、負担の均衡と世代間の公平を図る必要がある。 ただし、低所得の年金受給者にとって、これ以上の削減は生活をより厳しいものにしてしまう。一律に削減するのではなく、併せて別に支援が必要である。 |

賛成議員

町田中山下
田中長谷川

反対議員

津阪森浜
川本本本
本油宮池
本飯本本
田飯本前
田尾田

反対討論 浜本 武代

公的年金の財政見通しが大変厳しく、毎年約1%ずつの給付減額や年金開始年齢の引き上げなど財源確保が必要となっている。老後の「安心」となる年金制度には、若い現役世代の支え手を増やす手立てが必要である。

賛成討論 長谷川 昭二

生活必需品の値上げ、各種控除の縮小による増税、医療、介護の保険料の相次ぐ値上げなどで高齢者の生活は厳しさを増している。本町においても、高齢化が進む中で、年金受給者も増加し、年金の削減が、地域経済へあたえる影響は決して少なくない。

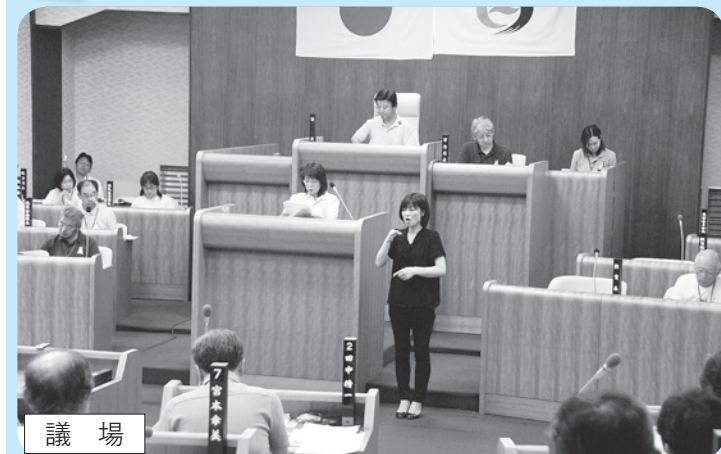
賛否あり

さらなる年金削減の
中止を求める請願

不採択

| 陳情件名 | 陳情者名 | 採決 | 委員会の意見 |
|---------------------------------------|----------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出に関する陳情 | 倉吉市 平野宏幸 | 採択 全会一致 | 肝炎対策基本法にのっとり、ウイルス性肝炎患者に対する支援が必要のため →政府及び国会に意見書を提出 |
| 「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情 | 公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会 | 採択 全会一致 | 手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない人が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした、手話言語法(仮称)を制定する必要があるため →政府及び国会に意見書を提出 |

★初の試み 議会での手話通訳★



議場



傍聴席

チヨツと聞きたい

5月17日(土)、さつきヶ丘団地自治公民館において、「議会出前座談会」を開催しました。出席者からは、町政に対する熱いご意見をいただきました。

▼危険なゴルフ練習場

問 この団地は公書のと真ん中だ。危ない。以前、陳情したが全然進展がない。ゴルフボールが飛んできて、窓ガラスをこわす。屋根はもちろん、車にも当たる。子どもの足元でボールがはねていた。ボールがバケツに3杯もたまった。

答 議会としては、昨年9月のさつきヶ丘団地からの請願を採択し、町に「住民の安心安全な暮らしのため、町として出来る最大限の対応をとりたい。」と申し入れたが、何の状況も変わっていない。今後も引き続き、一刻も早い解決を図るよう町に働きかけていく。

飛んできたバケツ一杯のゴルフボール



議会へ

▼どうする人口減

問 北栄町の人口が減っていく中で借金は多く、残った町民で返済していくことになる。年金の支給額も下がっている。町は人口が減っていることをどう考えているか。倉吉は企業誘致が進んでいるが、町はどうして誘致しないのか。大都会へ出かけてでもやるべきではないか。

答 人口の減少問題は、議会としても大きな問題と認識している。婚活支援による少子化対策、子育て支援の充実による若年世代の定住促進、恵まれた交通網を活かした企業誘致など、あらゆる人口増加対策を町とともに積極的に推進していく。併せて、行財政改革のさらなる推進による効率のよい行政運営を行い、住民負担の軽減を図るよう、町に働きかけていく。

○下水道(整備)は都市に比べ建設費はかかると思うが、国への支援要請はできないのか。

○ごみの出し方で、袋が違つと業者はごみを持って帰らないのはおかしいのではないか。独占企業になつてはいないか。

○北栄町の人口が減つていく中で借金は多く、残つた町民で返済していくことになる。町は人口が減つていくことをどう考えているか。

○倉吉は企業誘致が進んでいるが、町はどうして誘致しないのか。大都会へ出かけてでもやるべきではないか。

○人口減で北栄町がなくなつてしまふのではという危機感がある。人が増える対策は。

○近くに砂置き場がありブルドーザーの騒音がうるさい。南風、西風が多く砂が多く飛んでくる。何とかならないか。

○合併時、職員も2倍になつたがその後の人員削減は、どうなつたか。

○LEDの街灯の一部に外が明るくなくても消えないものがあるが、省エネになっていないのではないか。

○西園の県道で草刈りをしていないところがある。歩道も草だらけでみつももないので県に言うてほしい。

町へ



町からの回答は34号に掲載します

町政

質問

ここを問う

6月定例議会では10人の議員が
16問の一般質問を行いました。

| 質問者 | 質問事項 | ページ |
|-------|----------------------|-----|
| 飯田 正征 | 公共施設老朽化問題と統廃合 | 13 |
| 津川 俊仁 | 町職員採用試験 | 9 |
| | 酪農振興と学校給食における牛乳問題 | 11 |
| 森本真理子 | 少子化対策 | 10 |
| | 特定健診の受診率向上 | 14 |
| 池田 捷昭 | 町長の政治姿勢 | 7 |
| 油本 朋也 | AED設置環境 | 14 |
| 町田 貴子 | 子育て支援 | 10 |
| | 環境問題 | 13 |
| 斉尾 智弘 | コナン通りの今後 | 8 |
| | 自然災害をこうむった農家への支援 | 11 |
| | 地域包括ケアシステム構築 | 15 |
| 長谷川昭二 | 企業誘致とまちづくり | 9 |
| 田中 精一 | 町道大栄小中学校線の坂道に融雪装置の設置 | 12 |
| | 路線バスの乗降場所 | 12 |
| 阪本 和俊 | 町長の政治姿勢 | 8 |



池田 捷昭

町長の政治姿勢

当面の行政課題は

答「コンパクトで効率的な行政組織」

池田

① 北条川放水路に

伴う地盤沈下について、町も新しい体制で取り組んでいるが今後の見通しは。

② ゴルフ練習場からのボール飛来により、団地は大変被害を受けている。安心、安全を守るのが行政の責務と考えるが。

③ 町の経営者は町長であるが、当面する行政課題と10年先を見据えた自治体をどうするか。

④ 人口が減少する中で、もっと大きな視点からの行政組織のあり方は。

⑤ プラント進出の予定は。3月以降の動きはどうか。

町長

① 北条川放水路特命担当を設置し、相談を一元化し個々の家を訪問し、被害の実態、不安など解消へ聞き取り相談に当たっている。議会とともに進めていきたい。ご協力を。

② 団地住民から相談を受けているが、この件は民事によるもので、基本的に行政が介入できない事案である。ボールの飛来を規制する法令がないので、強い指導や注意ができない状況である。関係者それぞれの誠意ある対応をお願いしていく。

③ 当面する課題は、行政改革である。中長期財政見通しは、平成30年度には財政調整基金が底をつく、大変厳しい状況である。まちづくりビジョンを着実に実行し、町民と協働して町づくりを努める。

④ 民間の活用・予算の抑制で行政改革を進め、コンパクトで効率的な行政組織としていく。

⑤ プラントから賃借料の提示があり、前進している。賛成署名もあり、地元では早急な進出を望んでいる。

町政インタビュー



町長の政治姿勢

「指示なく」戸惑っている



阪本 和俊

答 「私の考えは全職員に浸透」

阪本

町長は、日頃から

明確な指示命令がなく、職員は職務に対し目標を失い、戸惑っているのではないか。

また、町長は、議員や町民の質問や意見をもっと真摯に受け止めて、責任ある答弁や対応が必要であると考えるが、町長の責務は。

町長

職員に対する指示・命令は、前年度末に「まちづくりビジョン」の5つの基本目標達成のため、各課で「次年度の課題と目標」を設定させ、以後、その進捗状況や新たな課題等について、常に各課長及び課員と協議をしながら業務執行させており、私の考えは確実に全職員に浸透している。

私の責務は、町民皆さんが経済的な豊かさはもちろん、心豊かに暮らしていけることを実感できるまちづくりの推進であり、そう感じていていただけると、努力することである。



町政インタビュー

「ナンでもまちづくり」

今後の振興計画は

答 「少しずつ整備」

斉尾

観光は、我が国の

力強い経済を取り戻す極めて重要な成長分野。アジアをはじめとする、世界の観光需要を取り込むことにより地域活性化、雇用機会の増大などの効果に加えて、外国との相互理解の増進も期待できる。東京オリンピック・パラリンピックも決まり、今こそコナン中心の振興計画を。

町長

コナンを中心としたま

ちづくりの道筋を示す時期が来ているとの考えに大賛成。厳しい財政状況の中、魅力あるコナンによるまちづくりを少しずつではあるが、整備していく。海外の方も多く来られ、韓国・中国・台湾・香港の方が中心だったが、ドイツ・アルゼンチン・中近東の方も来場されている。さらにPRに務めていきたい。コナンと農業がお互い発展出来るよう研究していきたい。



斉尾 智弘



企業誘致

多額の投資が

答「山陰道と313号の結節点の活性化」



長谷川 昭二

長谷川

大型商業施設プラ

ントの進出で、候補地の周辺整備となれば、アクセス道路など、多額の財政投資が必要ではないか。

また、進出効果とする賑わいの拠点や雇用の増大や税収増は、非正規雇用がほとんどで疑問である。なによりも、居住地域にある既存の商業施設が廃業に追い込まれれば、自らの移動手段をもたない人の生活はどうなるのか。

町長

大型商業施設プラント

の進出予定地で地権者等と協議中である。周辺整備は、5〜10年後の将来を見据えて、山陰道と国道313号の結節点の活性化で捉えている。

また、雇用は臨時的な雇用が中心で、補助的収入となるが、新たな雇用の確保となる。プラント進出によって、既存の店舗は何らかの影響があり、交通手段のない方の買物は不便になるが、反面、ほとんどの生活必需品が揃うので便利になるとも考えられる。



町職員採用試験

全国から優秀な人材を

答「今年度から住所要件撤廃」

津川

平成27年度の町職

員の採用予定、採用人数、試験時期、採用職種と、その結果、将来の職員体制は。統一試験における受験資格に、「住所要件として東伯郡内及び倉吉市在住者（出身者も含む）」としているのは、「より優秀な人材を確保するため」とする採用方針に反するので、住所要件を撤廃すべき。

町長

平成27年度の採用予定

は一般事務と保育士を若干名、保健師1名、土木技師1名。試験は、一般事務と保育士は町村会の統一試験で九月に一次試験を予定。保健師と土木技師は町独自の試験実施で7月27日に予定。平成27年度は現在175名いる職員数を170名に削減することを目標にしている。住所要件については、町内者を採用すべきとの考え方もあるが、よ

り優秀な人材を求めていくことも考えなければならぬので、今年度実施の採用試験は、住所要件を撤廃し、広く優秀な人材の確保を図りたい。



津川 俊仁



少子化の進行

待ったなし

答「できる限りの対策を」



森本 真理子

森本 少子化の進行に歯止めをかけ、人口の増加と若者の定住によって、町の活性化を図ることが待ったなしではないか。南部町のように、結婚支援、出産・子育て支援、暮らしやすさ支援といった具体的な施策が大事だと思う。本町に暮らし、子育てできて良かったと心から実感できる町に。



町長 雇用の場の創出・確保、出会いから結婚・出産・子育てまで、観光による交流人口の拡大、新規就農の増大、空き家の活用による移住促進、暮らしに向けた支援策などできる限りの対策を打っていききたい。庁内の「人口減少対策会議」で検討し、平成27年度から効果的な事業に取り組んでいきたい。

町政インタビュー

子育てと仕事

もっと支援を

答「対策チームで検討」

答「啓発も子育て支援の柱」

町田

- ①「保育料の無料化」を検討すべき。
- ②子育てにもっと手厚い支援策を。
- ③「家庭教育12か条」の取り組みの継続を。

町長

①保育料の無料化は考えていない。
②国が、子育て環境の整備のため、27年4月から「子ども子育て支援新制度」を開始することを決定。こんな中、結婚から妊娠、出産、子育てまでを支援する包括的な支援体制の確立が急務なた

め、対策チームでの検討を開始した。
③このような運動は粘り強く継続的な周知が必要である。

教育委員長

③豊かな心と自ら考える力を持ち、自己実現ができる「人」を目指し啓発を進めている。徐々に効果は出てきていると実感



ファミリー・サポート・センター交流事業



町田 貴子

している。家庭内での子育てや親育ちの啓発も子育て支援の柱だと考え、今後も継続して取り組む。

パスチャライズ牛乳

酪農振興と地産地消

答 「酪農振興をはかりながら」

答 「今後導入の方向」

答 「耕畜連携によって」

※パスチャライズ牛乳=低温殺菌による高栄養牛乳



津川 俊仁

津川

農業振興を進める

中で、酪農の位置付け、立ち位置を明確にし、より現実的な酪農振興をすべき。学校給食に子供たちの健やかな成長と体力向上を願い、付加価値の高いパス



チャライズ牛乳の導入と補助をしては。

町長

本町の酪農振興を推進

するうえで今後も地元産を採用したい。導入補助は国の支援策を利用したい。

教育委員長

来年度から導入予定。

農業委員長

畜産業から供給されるたいきゅう肥は、土づくりにかかせない。自給飼料生産への取り組みが進む中、農地の集積がなされ、遊休農地解消と環境保全に大きく貢献している。

町政インタビュー

自然災害

さらなる支援を

答 「県と相談しながら」

斉尾

4月15日 早朝、梨・柿・いちじくで、霜による被害が発生した。町は、防除費用として10㊦あたり3900円の3分の1に相当する1300円を助成するとしているが、このマ

イナスからの再起となる災害に、さらなる支援を求めたい。また冬になると大雪のため、ハウスが倒壊するとう災害が発生することがある。この撤去費用の支援を求める。

町長

この霜害へのさらなる

支援は、県の果樹等経営安定資金利子助成制度の発動による無利子融資がある。この制度が発動されれば、町も実施の方向で検討していきたい。大雪による倒壊ハウスの撤去費用は、以前の災害についても支援をしてきている。



斉尾 智弘



知事といっしょに現地調査

町道急坂道に融雪装置

事故後では手遅れ

答「ガードレールなど検討」



田中 精一



町政インタビュー

田中

町道大栄
小中学校

線の坂道は、勾配が8・8%の急坂で、加えて途中に、カーブがあり、特に路面凍結時は「魔の坂道」である。この町道は、大栄小・中学校の通学路であり、毎日、児童生徒が通学する。事故で子どもたちが巻き込まれてからは、取り返しがつかない。速やかに融雪装置の設置や、注意喚起の路面表示等の改良が、必要ではないか。

町長

指摘の坂道では、凍結

時に事故が起こり易いことは承知している。融雪剤を常時配置しているが、散布されていないのが実状である。

当該箇所に「融雪装置」の設置を、との質問だが、約6000万円の見積りで、さらに維持管理に年間約300万円と多額の予算支出を伴うので、設置は困難。通学時の児童生徒や運転者の安全確保策として「ガードレールや滑り止め、注意喚起の看板等」を検討し、冬まですらに対応したい。

危険なバス停の降車場所

早急に不安解消を

答「県道当局に強力要望」

田中

由良駅入
口下りの

バス停留所は、特に降車時に危ない構造となっている。

車道と歩道を分離するコンクリートブロックのため、このブロック上に着地するか、ブロックを飛び越して着地するか迷い、つまずいたり、転ぶ場合もある。バス利用者は、大半が高齢者や身体の不自由者であり、安心安全のためにも、県の道路担当部署に、乗降場所の改善要望をされたい。

町長

路線バス停を点検した

ところ、乗降に支障がある箇所を確認し、さっそく県土整備局に情報提供したところ、優先順位をつけて事業化を検討したい、との回答を得た。また、正式要望にあたっては、「地元関係者と十分に調整し、手戻りが生じないようされたい」との助言もあったので、今後、利用者や関係自治会等の意見を調整したい。

早急に県当局や路線バス事業者に必要な改善を行うよう、要望したい。



公共施設老朽化問題と統廃合

施設の修繕や撤去は

答 「平成27年度を目途に」



飯田 正征

飯田

公共施設
130件

のうち耐久年数を超えた施設は現在34件、10年後は全体の53%にあたる69件になる。維持管理費も膨らむ老朽化・統廃合の必要な公共施設への対処は、町が管理する全建物を対象に、設置目的・利用状況・築年数・維持費・修繕や改築費用など施設に関する「公共施設白書」を作成し、方針を決め、計画的に実施しては。



北条庁舎 昭和52年建設

町長

北条町も公共施設の老朽化対策が大きな問題となっており、早急にその状況を把握し、長期的に修繕・統廃合・長寿命化などを計画的に行う必要があると考える。

本年4月に総務省から示された指針を参考に平成27年度の完成を目途に町が管理する施設の「公共施設白書」を作成し、その中で適正な配置、有効活用策を検討していきたい。

町政インタビュー



町田 貴子

※ゼロエミッション
II産業により排出される廃棄物などを、再利用してゼロにしようとする考え方

町田

クリーン
ランドほ

うきの最終処分場は平成30年には満杯になる。この処分場の延命化を図るため、「ゼロエミッション推進計画」でごみのリサイクルや分別・減量化、小型家電の回収などに取り組むことが重要ではないか。

町長

最終処分場
は今年度か

ら増設のための測量や地質調査が始まる。計画の策定にあたって、策定委員会を立ち上げ、重点的に取り組む廃棄物として、焼却灰、小型家電、生ごみ、紙ごみ・紙おむつの5つを排出抑制・リサイクル推進とした。ごみの収集量の推移は横ばい状態だが、一人1日当たりの排出量は平成25年度604gで、目標とする500gに届いていない。今後、各種団体と連携しながら、生ごみの水切りの徹底やごみの分別、リサイクルなどの啓発運動に努めたい。

最終処分場の延命化 ごみ減量の対策は

答 「各種団体と連携しながら」



最終処分場 (クリーンランドほうき)

特定健診

声かけあって

答「受けやすい体制づくり」



森本 真理子

森本

年代別受診率は年

齢が若いほど低く、平均で30%から40%程度にとどまっている。一年に一度、自分の誕生日には、特定健診を必ず受けよう。」など、言葉で啓発して、元気な町づくりを一層推進すべきと考える。



町長

受診率向上にむけて魅

力的な健診となるよう町独自で、貧血や尿酸、クレアチニンなどの検査を追加している。また、受けやすい体制づくりとして、集団検診と医療機関健診どちらでも、また休日健診も実施している。各組織や団体、そして家族や隣近所で声を掛け合って健診を受けてもらい、そのことが病気の予防につながり、元氣な町づくりになると思う。

町政インタビュー

AED設置環境

救急車が来る前に

答「まず住民が救命措置を」

油本

AEDは誰でも使

用できる医療機器だが、救急車が来る前に必要なその機器の設置場所を町民は知っているか。公共施設や学校その他に、AEDがない自治会やコンビニなどに広く設置してはどうか。

町長

AEDの設置場所は

ホームページに記載しているほか、施設入口にAED設置シールを貼りお知らせしている。

しかし、設置数には限界があり、町としては総合防災訓練などで救命講習を実施したい。救命率向上のため、「AED使用可能施設登録制度」を始めていきたいが、救急車到着までは、住民がしっかり救命措置を行ってほしい。

※AED＝自動体外式除細動器 心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻すための救命機器



油本 朋也

地域包括ケアシステム

見守るシステム作りが必要

答「北栄町版を構築」



齊尾 智弘

齊尾

高齢化率は平成26年度28・8%になると予想。社会保障の見直しや、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられる新しいケアシステムの構築は喫緊の課題である。

国の予算を活用したシステムの準備状況はどうなっているか、また認知症高齢者を皆で見守るシステム作りが必要では。

町長

支援が必要な住民の方

のための医療・介護・地域の連携を進めており、要支援認定者の自立支援のためのケアプランに向け、課題共有や解決等に取り組んでいる。



国等の補助金を活用しながら北栄町版地域包括ケアシステムを構築していきたい。
認知症高齢者の見守りについては、徘徊（徘徊）なのかどうなのかわからない中で、声かけは難しい。しかし、住民の方の理解が得られて、地域で見守っていこうとなれば、良いシステムが出来ると思うが、まず、住民の方の理解を得ることが必要である。

町政インタビュー

追跡 あの質問はどうなった?

Q.ふるさと納税の増加対策

【平成26年3月定例会】

【飯田】横ばいである「ふるさと納税」増のため、農作物中心にお礼の記念品の種類や組み合わせを増やすべきでは。

【答】平成26年度から、お礼の品を4品から33品にし、また納税額によって4つのコースから選択できるなど大幅に見直す。



人気のアムスメロン

大幅増加!

(納税額は昨年同時期の100倍以上)

ふるさと納税額

平成26年6月末現在

3451万7000円(3112件)

※昨年6月末：33万1000円(9件)

お詫び・平成26年5月発行「議会だより32号」10ページにある「生産部会」は町全体の部会を指すものではありません。誤解を与えるような表現であったため、関係各位にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。



かわいい 双子 ちゃん

岡田 ^{なおみ} 奈緒美ちゃん・^{ななみ} 奈々美ちゃん
(左) (右) (7歳・米里)

奈緒美ちゃんは踊ったりすることが好きで、奈々美ちゃんは、歌が好きです。素直で、元気で明るく育って、みんなに好かれる子になってほしいと思います。今楽しく学校に通っています。



西村 ^{しゅん} 准くん・^{りょう} 凌くん
(左) (右) (3歳・大野)

やんちゃで剣を手に持ち、ヒーロー戦隊ごっこで涙・笑いありと元気いっぱい。これからも仲良く元気に育ってほしいと思います。



知っとななる? こんな北栄

汐川神社 (国坂浜)



汐川(しおかわ)神社は、国坂の海岸松林の中にあり、奥州仙台郊外にある、塩竈(しおがま)神社を勧請したものとされている。漁民の信仰があったと北條町史には記されている。

大谷公民館 (大谷)



大谷公民館は、由良小学校旧本館の一部(3教室)をもらい受けたもの。解体された木材を大八車で運び、手を加え、昭和32年7月に完成した。公民館の玄関には、当時の総理大臣岸信介が書き、その落款(らつかん)が押されている「大谷公民館」という建て書き看板がある。当時、結婚式も行われた2階には、64帖の大広間があり、階段はその頃のままである。

編集後記

サムライブルーの熱狂で始まったブラジルW杯も終わり、この町も夏の盛りを迎えました。暑さに負けないように十分な睡眠と栄養、適度な運動を心がけて、8月を乗り切って行きましょう。

今日もヒマワリが元気に咲いています。黄色と黒のその花の色は、私にとっては関西の虎チーム。彼らがこの夏を耐えて、秋には大輪の花を咲かせることを、今年もまた祈りながら、私の夏は過ぎて行きます。(朋)

発行責任者

議長 井上信一郎

編集

広報広聴常任委員会

委員長 宮本 幸美

副委員長 斉尾 智弘

油本 朋也

森本真理子

田中 精一

浜本 武代